

ふかめる

# 地球ひろば

とも 共につくる ぼくらの未来

協力: JICA (ジャイカ)  
https://www.jica.go.jp/hiroba/

## ガーナ②



- 国名 ガーナ共和国
- 面積 23万8537平方キロメートル(日本の約3分の2)
- 人口 2740万人(2015年:世界銀行)
- 宗教 国民の約半数がキリスト教徒、イスラム教約15%、その他伝統的宗教
- 政府開発援助重点協力分野 農業(稲作)、経済インフラ(電力、運輸交通)、保健・理数科教育、行政運営能力強化 (外務省のホームページより)

## 野口英世博士ゆかりの研究所

# 感染症から 守りたい



### 丹さんの仕事は?

国際協力機構(JICA)ガーナ事務所で、ガーナ大学にある「野口記念医学研究所(野口研)」を支援しています。

野口研は1979年に日本が支援してつくった研究機関です。この研究所は、黄熱病の研究中に自らも感染し、ガーナで生涯を閉じた野口英世博士との深い縁があります。医学の研究を通じて医療に携わる人を育て、人

々の健康の改善に力を尽くすことが役割です。西アフリカでトップレベルの研究所として評価が高く、現在約50人の研究者が働いています。



ガーナ野口記念医学研究所

### 感染症多いアフリカ地域

ガーナでは昨年、コレラが大発生し、約700人が感染に苦しみ、大きな問題になりました。感染症のリスクがある患者をいち早く発見し、他の人たちに広がらないようにする仕組み作りへの支援が求められています。

2014年に西アフリカ地域でエボラウイルス病(エボラ)の感染が広がったときは、ガーナの周りの国から約200人の血液が野口研に送られてきました。野口研の研究者が夜も休日もなく検査をして、ガーナや周りの国でエボラが広がるのを食い止めました。

### 日本とガーナ 力合わせて

日本はガーナの人々の健康を守るため、感染症対策や栄養状態を良くするための支援をしてきました。最近では、ガーナ産の葉草などを使ったエイズの治療薬の研究や、ハエに刺されると感染して眠ったような状態になって死んでしまう「アフリカ睡眠病」など日本とガーナの共同研究もしています。感染症は簡単に国境を越える時代になりました。世界中の少しでも多くの命を感染症から守れるよう、日本とガーナの協力の成果が他の西アフリカ諸国へも広がるよう、これからも力を合わせていきます。



エボラ研修で防護服着用の指導

1979年1月18日付毎日新聞夕刊



### JICA地球ひろば オロゴンさんと トーク 参加者募集

東京都新宿区のJICA市ヶ谷ビルには、国際協力について学べる体験スペース「JICA地球ひろば」があります。この春、大きくリニューアルし、15日午前10時～午後0時半、記念のイベントが開かれます。トークセッション「もす! ポビー・オロゴンさんと考えよう、持続可能な開発目標」や、SDGsがテーマの企画展をめぐるガイドツアーがあります。先着100人、無料。申し込みはJICA地球ひろばのホームページか電話0120・767278へ。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsは世界中の人の参加が前提です。次はみなさんの出番です。

SDGsは世界中の人の参加が前提です。次はみなさんの出番です。SDGsは世界中の人の参加が前提です。次はみなさんの出番です。

### あらゆる人が 国際協力を

(Sustainable Dev

17の目標(左の図の項目)を決めました。SDGsを決めました。SDGsを決めました。SDGsを決めました。

# 世界の目標SDGs

世界には貧困や難民、地球温暖化など、世界が協力しなないと解決できない問題がたくさんあります。それらの問題を解決するため、国連では2015年9月、世界をよりよくするための17の目標(左の図の項目)を決めました。SDGs

世界には貧困や難民、地球温暖化など、世界が協力しなないと解決できない問題がたくさんあります。それらの問題を解決するため、国連では2015年9月、世界をよりよくするための17の目標(左の図の項目)を決めました。SDGs

世界には貧困や難民、地球温暖化など、世界が協力しなないと解決できない問題がたくさんあります。それらの問題を解決するため、国連では2015年9月、世界をよりよくするための17の目標(左の図の項目)を決めました。SDGs

世界には貧困や難民、地球温暖化など、世界が協力しなないと解決できない問題がたくさんあります。それらの問題を解決するため、国連では2015年9月、世界をよりよくするための17の目標(左の図の項目)を決めました。SDGs